榎谷議員 おはようございます。通告してありました2点について質問させていただきます。まず最初に役場移転及び海部消防署の進捗状況と現時点での課題はについて質問いたします。東日本大震災から明日で5年が経ちます。死者15,894名、未だ行方が分からない方が2,562名と新聞で報じられていました。そして、被災者の心の傷は、未だに癒されていません。この現状が私達の身に起こるかもしれない南海トラフ大地震に備え、12月議会で質問させていただきました。本庁舎のその後の進捗状況をお伺いします。12月議会の町長の答弁で海部病院新築移転後の跡地への移動という案を町長から出されていましたが、他にも適当な案があればということでした。私は既に平成21年9月議会での早い段階で役場移転候補の提案をしてありますが、町長は海部病院跡地と、もう決めていませんか。決めていなければ、早く結論を出し先に進める。具体的にどのようにしたいのか、庁舎だけでは大きすぎる、つまり、広すぎる現在の海部病院の大きい分をどのように使用分野を広げていくのか、また、海部病院跡地移転するにあたり、海拔は大丈夫なのか、さらに電気系統はやり直しが必要とされている中、工事費や内装工事には約いくらかかるのかと、算出するまでの経過には多くの日数がかかると考えられます。早く答えを出し、答えが出たところでどの分どれだけの財源が必要か、新築するのも変わらない結果になるのかも踏まえて、広い分野については、地方創生の財源を持ってこられないのか、それには町長の早い決断力が必要であるというふうに思います。もう一年しかありませんよ。一年後にはスタートできるように何度も言いますが、町長の早い決断力、即効性のある取り組みをお願いしたいと思います。同じく急を要する海部消防署移転その後の取り組みについてお伺いします。この質問も前回質問したものです。早急に取り組まなければならない案件だということも分かっていると思いますので、内容は省かせていただきますが、移転先は決まりましたか。山を切り開くとの話しも出ているようですが、どの山をいつ頃着工するのか、そのような具体案は出ているのかお聞きいたします。また、補助金、財源等も3町で話し合いされたのか、併せてお聞きします。南海トラフ大地震に備え、この2件は、本町として万全を期して取り組むべき案件だと思いますので、町長の見解をお聞きします。つぎに健康管理センター・鬼ヶ岩屋温泉の今後の見通しについてお聞きします。健康管理センターというより町民の皆さんには鬼ヶ岩屋温泉と言った方が理解しやすいと思いますので、あえて鬼ヶ岩屋温泉と言わせていただきますが、もう何年もの間放置されていますが、あちこちに修繕しなければならぬ箇所も出てきています。売却の方向で進んでいるものの、現段階では、買い手は現れない状態が続いています。あのまま朽ち果てるまで放置して置いておくのですか、放置したところで年間の経費は掛かっている現状を踏まえ、売却の単価の見直しはもちろん、民間委託、三セクあらゆることも含めて、もう一度練り直す必要があると考えます。今後の方針を早く打ち出し、これ以上いつまでも放置しない。町長の今後の見通しをお聞きします。以上、2点について答弁をお願いします。

榎富議長 福井町長。

福井町長 榎谷議員のご質問にお答えします。役場移転及び海部消防署の進捗状況と現時点での課題についてですが、現在の役場庁舎は昭和56年以前に建築された建物であり、その当時の建築基準法の構造規定やオイルショックなど当時の建築資材等の状況から耐震性能が不足していることが認識されています。また、水道設備や空調設備及び防水性能にも大きな問題があり、現在の建物を耐震改修することは困難であると考えています。そこで平成23年以降、移転適地の選定や財源などについて検討されていますが、現時点では、現在の海部病院が移転した後の施設を利用させていただくのが最善の方法と考えています。しかしながら、現在の海部病院も昭和57年に建築されており、新耐震設計法により設計施工されていることから、耐震性能があると認められていますが、建築設備の老朽化が懸念されています。取得しても設備改修に多額の費用を要したのでは、町財政の厳しい中、大きな禍根を残すことにもなるため県と協議を進めているところです。また、現在の海部病院施設は、延床面積が役場の2倍以上あり、県から施設を借りる場合と町が所有する場合には、役場として使用しない部分の用途が異なるため安易に入居者を簡易できずにいます。私は最善の方法は、県と町が共有し施設管理をしていくべきと考えていますので、今後、徳島県にもその可能性について協議を進めてまいりたいと考えています。また、海部消防署の高台移転ですが、現時点での高台移転に向けた協議は開始していません。議員もご承知のとおり、この施設は海部郡3町で運営していることから、今後、3町で協議してまいりたいと考えています。なお位置は全く決まっていませんし、山を切るという話しも現時点ではありません。つぎに鬼ヶ岩屋の今後の見通しについてですが、平成24年の営業休止以降、施設を譲渡、売却する適切な業者選定のため、プロポーザル方式で2度募集しましたが、応募される方はおいでませんでした。また、施設を温泉、あるいは、研修施設などとして使用していただける可能性のある県内中堅企業にも働きかけましたが、希望者はありませんでした。さらに県内金融機関を通じ県内外のお得意様に声を掛けていただきましたが、やはり希望者はありませんでした。おそらく課題となっているのは購入価格ではなく、その後の維持管理費だと思います。残る策は他の用途に転用するか、あるいは、競売にかけるかだと思いますが、いずれにしても橘地域の方々には期待する施設の利用目的から大きく外れる用途に使用する可能性があり、最善の方策を現在も模索しているところです。議員の皆さまからもご提案いただけるとありがたいと思います。

榎富議長 榎谷議員。

榎谷議員 答弁、ありがとうございます。再問させていただきます。現時点での海部病院、57年築ということですので、今までには補修はなかったのですが、そろそろ建物にお金がかかる頃に入ってくると思うのです。そういうことも踏まえながらやって欲しいのですが、海部病院に決めるというのであれば、前向きに前進していただきたいと思います。町長、県

にもときどきそれで行かれていろいろなことを聞いておられて今の答弁になったのだろうと思いますけども、決まったのなら決まったで、どういうふうなことで前に進んでいくかということをはっきり踏まえて、町長一人が担当課に再々行っても問題は進まないと思いますので、私達議会も県に陳情に行く努力は惜しまないと思っていますので、そのためにもすぐに取り組んでいただきたい。そのように思っています。陳情等も議会、一緒に行きますので、骨組みを作ってください、どういうふうにするかということをお急ぎに決めていただいて、その上で私たちも要望することは要望して議会一同行きたいと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思います。それから、鬼ヶ岩屋温泉ですが、現時点では、町長がおっしゃられたことは分かっています。でもそのままこれからも置き続けるということは問題がありますので、地域の方も踏まえて、いろんなこととお話合いをして、最終的に売却、どうするかということを考えて一日でも早い決断がそれもあると思います。消防署の方は3町で話し合われたのでしょうか。どういうふうにするかということをお急ぎに3町で話し合われたのでしょうか。そのことも再度お聞きしたいと思います。3町で話し合いされたのであれば、その結果、どういうふうに進むのかということもお聞きします。どっちにしても本庁舎、消防署、急を要することだと思っています。いつ来るか分からない。30年後かも分からないけども、明日来るかも分からない南海地震に向けて万全を尽くして取り組まなければいけない案件だと思っていますので、両方即時に決断をお願ひしたいと思います。3町で話し合われたかどうか、もう一度。

枡富議長 福井町長。

福井町長 再問についてですけども、海部病院は、これまでも何度か設備改修をされています。ただ、建築設備というのは、だいたい20年ぐらいしたら、何らかの手を加える必要があるということで、57年から1回手を加えて、2回目をやっているかということなんですけど、1回目はやっていると思います。あと海部消防署の件ですけども、3町長で具体的に話しを詰めたことはありません。ただ、先の一部事務組合の議会において、地震津波対策として対応を考える必要があるということで意見は一致していますが、具体的に話しは進めたことはありません。今後、協議をしていくということになっています。現時点で組合として大きな課題は、衛生処理事務組合の改築を非常に急いでいますので、そちらをいかにするかということで議論を進めているところです。

枡富議長 榎谷議員。

榎谷議員 ありがとうございます。ぜひ3町でもう1回話し合いをされて、前進できるものなら一刻も早い前進をお願ひしたいと思います。明日来るかも分からない南海トラフですので、町としては万全を尽くして構えるということで、今日、私が質問した案件は、急を要

するものだと思います。消防署についても事故後、全然動かないでは困りますので、南海地震は天災ですから、後の人災に関わることをないように消防署並びに庁舎の移転、改築を早急をお願いしたいと思います。以上で私の質問を終わらせていただきます。